

ゼロプロジェクトについて：

ゼロプロジェクトの使命は、国連障害者権利条約の原則と条文に従い、バリアゼロの世の中を目指して活動することです。

ゼロプロジェクトは、障害者の生活が向上するために世界中で行われている、革新的で効果的な実践と政策を認定しています。これは、150カ国以上で3000人を超える障害専門家ネットワークの取り組みによるものです。

革新的な解決策を共有する機会を提供するため、ゼロプロジェクトは以下の活動を行っています。

- ・毎年二日間に渡り、ゼロプロジェクト会議がオーストリアの国際連合ウィーン事務局で開催され、革新的実践や政策が示されるとともに、国連障害者権利条約実施に関する最新の研究内容が発表されます。

- ・選出された全ての革新的実践や政策、最新の研究内容が示されるゼロプロジェクト報告書（レポート）が毎年発行され、ウェブサイトからもダウンロード可能とすることで、世界中の専門家ネットワークへ送られ（配布され）ます。

ゼロプロジェクトは、2010年、オーストリアのエスル財団（Essl Foundation）によって創設されました。

主な取り組みと実績：

- － 毎年ゼロプロジェクトは国連障害者権利条約の様々な条項に関して調査をしています：

- －2013： 雇用（第27条）
30カ国からの会議参加者250人（内アジアから13人）対象
- －2014： アクセシビリティ（第9条）
50カ国からの会議参加者400人（内アジアから31人）対象
- －2015： 自立生活と政治参加（第19条、第29条）
70カ国からの会議参加者500人（内アジアから54人）対象
- －2016： インクルーシブ教育とICT（第24条）

日本との関連：

- －2014： 推薦数：全243中、日本4 / 選出案件1 革新的実践
- －2015： 推薦数：全231中、日本1 / 選出案件1 革新的政策
- －2016： 推薦数：全337中、日本1

将来の展望 — 活動を実行していくために、みなさんの経済的支援が必要となります。

- － アジア太平洋各国においても専門家のネットワークを拡張する。
- － 日本やその他アジア諸国からの推薦数を上昇させる。
- － アジア太平洋圏において、さらにゼロプロジェクトの革新的実践や政策を促進させ、知識の共有を可能にする。
- － 日本やアジア諸国でゼロプロジェクト会議を企画し、解決策を発表するプロジェクト実施者を招待する。
- － 研究や革新的解決策を利用しやすくするため、研究内容を日本やその他の言語へ翻訳する。

個人的に参加する方法：

- － 推薦過程に参加し、みなさんの地域コミュニティの中でイベーションのために”人材発掘”の活動を行う。
- － ゼロプロジェクトネットワークの専門家として活動し、推薦された候補案件を評価し意見を述べる。
- － 積極的に参加して、世界の中で日本の存在感を高めるよう、社会指標となるアンケート調査を配布する。
- － 経済的に、もしくは、内容面でゼロプロジェクトの取り組みに貢献できる組織や個人を発掘する。

必須条件：

- － 英語のスキル

お問い合わせは以下の連絡先へお願いします。

アメリー・サウプ (Mrs. Amelie SAUPE) エスル財団 ゼロ・プロジェクト日本代表者	106-0042 東京都港区麻布狸穴町60-1-403 +81 (0)90-4523-9361 a.saupe@zeroproject.org	www.zeroproject.org
---	--	--